

今年度最後の授業参観・学級懇談会

本日27日(金)は、今年度最後の授業参観・学級懇談会でした。各学級・学年で、工夫を凝らした授業参観が行われていました。低学年では、生活科と関連付けて、自分の成長したことやできるようになったことなどの発表、3年生が国語で調べたことの発表や図工で親子共同の作品作り、ふれあい学級が学級会や図工で作品作り、4年生が総合的な学習の時間に「2分の1成人式」で自分の成長についての発表、5年生が学活で情報リテラシーについて自分のめあて決め、6年生が修学旅行で学んだことについての発表でした。それぞれに一年間の成長が伝わる内容でした。



学級懇談会では、担任の方から1年間を振り返った学級の様子や、子供たちの成長の話があったと思います。参加していただいた保護者の皆様全員で子供たちの成長を共有していただき感謝しています。子供たちには、今年度を気持ちよく締めくくってもらうためにも、保護者の方からお子さんの成長をしっかりと認めていただき、お子さんの頑張りを認め、前向きな声掛けをよろしく願います。このことが、子供の自尊心を育み、生活創りへの意欲や学習意欲などを高める鍵となります。

懇談会では学校の取組や子供たちの成長を共有することは勿論ですが、他の保護者とも積極的に交流を図り、情報共有をすることも大切な時間となり、そのことが子供たちの学校生活をより豊かなものにしていくのです。

学校評議員会

授業参観に合わせて、学校評議員会も同時開催しました。熊本市では、地域や社会に開かれた学校づくりの推進のために、学校評議員を各学校に置くこととしています。学校評議員の機能として、① 保護者や地域住民の意向を把握・反映します。② 保護者や地域住民等の協力を得やすくします。③ 学校運営や状況等を明らかにすることで、学校の説明責任を果たします。学校評議員の皆さんは、校長が推薦し、熊本市教育委員会が委嘱します。今年度も学校運営や子供たちの様子を知ってもらうために、授業を保護者の方々と一緒に見学していただきました。

授業参観の合間に、私の方から評議員の皆さんに、学校評価アンケートの結果や学校運営について説明し、意見交換を行いました。

評議員の方からは、授業の様子では、「発表に詰まっていた友達に、そっと寄り添っている子供の姿に感動した。これも日頃の道徳教育によって心が育っているからだと思う。」「タブレットを使いながら発表していて、今どきだと思うし、内容もよかった。」「保護者もおしゃべりをせず参観のマナーがよい。」等、感想をいただきました。教育課題への提言として「子供たちを主役にして学級・学校経営を行っている。知・徳・体のバランスをとった教育活動が行われている。今後も期待している。」「帯西レンジャーが浸透し、低学年でも自分の行動を『4つの心』で振り返ることができている。」という意見をいただきました。評議員の皆さん提言をありがたく今後の教育活動に生かしたいと思います。参加いただきありがとうございました。

